

あかつかやま

2026 年 7 月 No.120



花しょうぶまつり

CONTENTS

- | | | | |
|----------|------------------------------|-------|---|
| ● 特 集 | ぎよぎよランドのカワバタモロコの故郷を探して | 浅香 智也 | 2 |
| ● 付 録 | 発見 あかつかやま | | 4 |
| ● 報 告 | 赤塚山公園体験記 | | 5 |
| ● イ ベ ント | バックヤード見学・夜までぎよぎよランド! | | 6 |

ぎょぎょランドのカワバタモロコの故郷を探して

カワバタモロコ

カワバタモロコはコイの仲間で、日本固有の淡水魚です。体長は5 cm ほどで、体の側面には黒い帯が入り、産卵期になるとオスが黄金色に色づく美しい魚です。

かつては平野部の池や水路など、身近な水辺に見られましたが、生息地の消失、水路のコンクリート化などによる環境変化、外来魚の影響などにより、大きく減少しています。愛知県東三河地方でも、数十年にわたり確認されていません。

現在では、環境省および愛知県のレッドリストで絶滅危惧ⅠB類に指定されています。さらに、特定第二種国内希少野生動植物種にも指定されています。



思いがけない知らせ

あるとき、H水族館から「武豊町にカワバタモロコが生息していたらしい」という情報が寄せられました。武豊町は、これまでカワバタモロコが分布していないとされてきた地域です。そのため、この知らせは、とても意外なものでした。

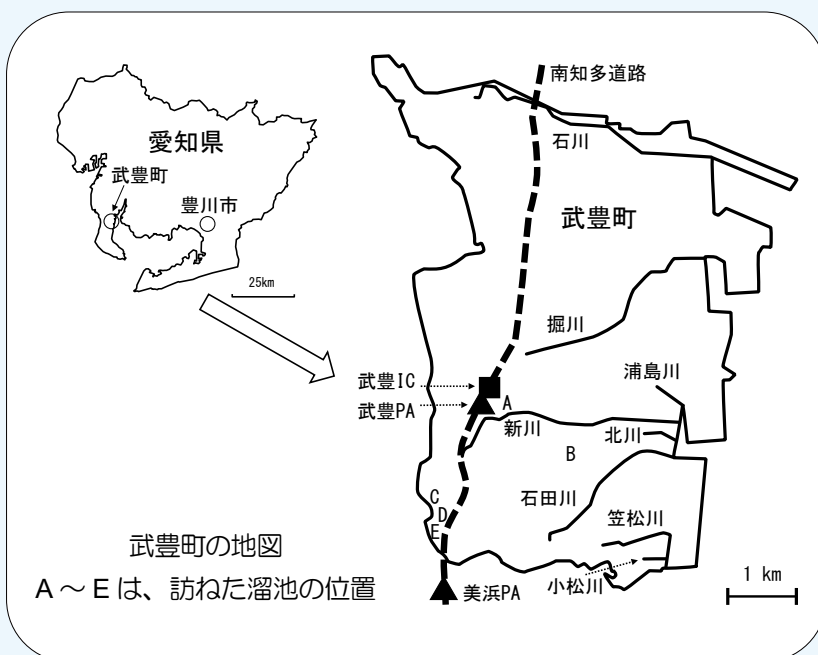
正直、その情報はまったく知らず、詳しく話を聞いてみました。すると、①溜池で採集されたこと ②溜池は南知多道路周辺に位置していたこと ③1996～1997年頃に環境アセスメントが行われていたこと ④その溜池はすでに埋め立てられていることが分かりました。

さらに、ぎょぎょランドにもB博物館や国立環境研究所から「武豊町産のカワバタモロコ」の情報が入りました。この魚たちは、採集者から同研究所に託され、長く大切に飼育されてきたものです。現在は、ぎょぎょランドで展示や繁殖が行われています。後に分かったのですが、これら2つの情報は同じものでした。

手がかりを追って

「武豊町」という情報をもとに、町役場に話を聞くことから調査を始めました。カワバタモロコに関する記録や、1990年代に環境アセスメントが行われた溜池について尋ねましたが、明確な記録は確認できませんでした。

次に文献もあたってみました。武豊町の資料を調べていくと、『武豊町誌 資料編二』の中にカワバタモロコの鱗の写真が掲載されているのを見つけましたが、目録には掲載されていませんでした。手がかりは見つかりそうで見つからず、疑問は深まっていきました。



武豊町の地図
A～Eは、訪ねた溜池の位置

しかたがなく、条件に合いそうな埋め立てられた溜池を一つずつ探していくことにしました。まず、1984年と1998年の2万5千分の1の地形図を見比べました。しかし、溜池の形に変化は見られるものの、はっきりと消えてしまった溜池は確認できませんでした。もしかすると、地形図には載らないような小さな溜池だったのではないかと思います。

今度は、1994年と2018年の住宅地図を使って見比べてみました。すると、そこには確かに、姿を消したA～Eの5つの溜池がありました。これらは、すべて新川水系につながる溜池であることが分かりました。

淡水魚は水系ごとに分布が分断されやすく、同一水系に属することは同じ由来である可能性を示す重要な手がかりとなります。このことから、水系という大きな手がかりが得られました。

故郷をたどる

地図の上で消えていたA～Eの5つの溜池を実際に訪ねてみることにしました。A溜池は完全には失われておらず、湿地のような形で残っていました。水は浅く、周囲には草が生い茂り、かつての水辺の名残が感じられました。

次に訪れたB溜池は、公園として整備されていました。かつての溜池はきれいに整地され、今では地域の人が利用する空間となっており、水辺の面影はほとんど見られませんでした。

C溜池とD溜池は、地図からは消えていたものの、実際には残っており、環境も大きく変わっていないように見えました。

最後に訪れたE溜池は、すでに埋め立てられていました。そこに水はなく、一面に太陽光パネルが設置されていました。かつてここに溜池があったとは、すぐには想像できない風景でした。

その後、町役場を再び訪れ、改めて話を伺いました。しかし、町役場が把握していた埋め立てた溜池の記録は、B溜池のみでした。さらに、E溜池の埋め立てに関わっていたと考えられる企業にも問い合わせましたが、いずれも古い出来事であるため、資料は残っていないとのことでした。



現在のB溜池（公園）



現在のE溜池（太陽光発電所）

確かめられない故郷

こうして、4つの情報に最も近い場所として、E溜池にたどり着きました。カワバタモロコは愛好家も多く、各地で人の手によって移動されてきた可能性もあります。そのため、「武豊町で採集された」という情報だけでは、本来の生息地であったかどうかを断定することはできません。

現在、ぎょうランドで飼育しているカワバタモロコについても、その由来を正確にたどるためには、DNA解析などによる詳しい調査が必要になるのかもしれません。一度途切れてしまった情報は、時間とともに失われていきます。今回の調査でも、その難しさを強く感じました。詳しい調査内容は、『豊川市赤塚山公園園報第7号』に掲載してあります。

飼育員 浅香智也

発見! あかつかやま

こうえん編 ~みずのひろばの すいせいこんちゅう~

なつの みずのひろばには たくさんの「すいせいこんちゅう」が
います。どんな こんちゅうが いるか さがしてみよう!

みつけた いきものに しるしを つけよう。



☐ アメンボ 10～16mm



☐ コシマゲンゴロウ 9～11mm



☐ コマツモムシ 6～7mm



☐ ハイロゲンゴロウ 10～16mm



☐ ヒメガムシ 9～12mm

ほかにも いろいろな むしがいるよ。さがせたら おしえてね。



赤塚山公園体験記

2月から6月にインターンや職場体験をした6名の学生のみなさんが、赤塚山公園での体験をふり振り返り、感想を残してくれました。その声をご紹介します。

人間環境大学2年生 山田 広貴さん

(体験日: 2月2-8日)

このインターンでは、給餌やろ過掃除など、様々な仕事を体験させていただきました。飼育員という仕事のおもしろさを感じたと同時に、難しさや大変さを知ることができました。ここで体験したことを、次に活かしていきたいと思います。



愛知県立三谷水産高等学校2年生 中澤 七海さん

(体験日: 3月23-27日)

私は4日間の実習の中で、職員の方々が魚の体調や行動を見て、沢山の工夫をしていることを知ることができました。また、生き物の変化に気づき、対応することの大切さも学びました。これからは、学んだことを学校での実習や進路で活かしていきたいです。

豊川市立金屋中学校2年生 中尾 辰洋さん

(体験日: 5月20.21日)

2日間の体験で感じたことは、動物も人間と同じようにそれぞれちがった性格をもっているということです。動物は体調や気持ちによって様子が変わるため、飼育員は動物の小さな変化にも気づけるように、注意深く観察することが大切だと学びました。



豊川市立小坂井中学校2年生 田中 晃樹さん

(体験日: 5月27.28日)

ぎょぎょランドでの二日間、水槽掃除など貴重な体験をさせていただきました。毎週この作業を行う飼育員さんの大変さや水槽の中からの視点を体感できたことは大きな発見です。命を預かる仕事の責任と魅力を学んだ充実した時間になりました。

豊川市立小坂井中学校2年生 森下 司雄さん

(体験日: 5月27.28日)

アニアニまあるでの体験は、驚きの連続でした。テレビで見る華やかなイメージとは異なり、主な仕事は地道な掃除であることを知ったからです。動物の命と健康を守るための裏方の努力に触れ、命と向き合う責任について学ぶ機会となりました。



豊川市立一宮中学校2年生 川瀬 凰太さん

(体験日: 6月3.4日)

今回の職場体験を通して、職員の方々が生き物のことをとても大切にしているのが分かりました。また、エサやり体験などのイベントもやっていて、来園してくれたお客様が楽しめるように工夫していて、すごいと思いました。

ぎょぎょランド バックヤード見学

日 時：7月18日（土）～8月30日（日）期間の土曜・日曜・祝日

午後2時～2時30分まで

内 容：ぎょぎょランドのバックヤードを飼育員の解説のもと見学します。

定 員：各回10人

参加費：無料 対 象：どなたでも

申し込み：当日の午前9時より、ぎょぎょランド1階受付にて申し込み。

先着順に整理券を配布します。



夜までぎょぎょランド!



日 時：8月1日（土）～8月29日（土）までの毎週土曜日と

8月13日（木）、14日（金）の午後5時から午後8時まで

内 容：ぎょぎょランドを午後8時まで開館します

参加費：無料 対 象：どなたでも



行事・イベントの報告

令和8（2026）年3月～5月

3/5	豊川幼稚園 コイのエサやり体験	33人
3/7	出張サンテパルクinぎょぎょランド 「子ども工作教室 くくるチューリップ」	275人
3/23-27	愛知県立三谷水産高等学校 インターン	1人
3/23	浜松市第二秋桜クラブ・第三秋桜クラブ コイのエサやり体験	80人
4/6	展示生物採集 新城市	
4/22	アイシンシロキ(株) エコッキーの森オープニングセレモニー参加	
5/5.6	アニアニまるる〇×クイズ	99人
5/11	豊川調査	

5/20.21	豊川市立金屋中学校 2年生 職場体験	1人
5/25-6/10	花しょうぶまつり	
5/27.28	豊川市立小坂井中学校 2年生 職場体験	2人
5/28.6/5	豊川市立八南小学校 4年生 出前授業 生物調査	128人
5/29-31	花しょうぶライトアップ ぎょぎょランド20時まで開館	



動物取扱業に関する表示

氏 名 又 は 名 称：豊川市長 竹本 幸夫 登録番号：動第119号

事 業 所 の 名 称：豊川市赤塚山公園 登録年月日：平成18年9月28日

事業所の所在地：愛知県豊川市市田町東堤上1番地30

有効期間の末日：令和8年9月27日

動物取扱業の種別：展示

動物取扱責任者：前田 民男

編集・発行

あかつかやま No.120 2026/7/15

豊川市赤塚山公園

〒442-0862 豊川市市田町東堤上1番地30

TEL(0533)89-8891 FAX(0533)89-8892

次号は10月15日発行です。